

日本の大衆が芸人と番付

空の常事人主として

金子小左衛門

それしここては 明治の下半以後のこと

限定する。それ以前のこと。風俗史の先生の

専門であり。大体事實は決定していて。尚書

にへだてた時間 ~~ま~~を間に置いて。大衆が芸

人の研究家とか。ちよつと言いかたはいけな

なかもしれないうが、なれの果とか、その社会

のめしを食ったことのある元席帯の主人とか

下足番の鄭さんとか、かからの車明き話 たどど

まとめあげたお書物書き人の話とか たどど

信用して、いいものがたどく てあるが がある。それに

明治中頃 こうそし すおまで 番付の本があつて、かな

り質のいい こうそし 梓紙で、天を てあるが 燕脂に染めた

四六倍版位の立長本に、角力の番付とあなし

に、まんなか てあるが に 勘進元 てあるが 隠居格があり、東

と西にわかれ、横綱 てあるが 大開 てあるが 開 てあるが 小結 てあるが

その和例の下方に 世話人をと